

関東春ロボコン 2026

競技フィールド/オブジェクト図面

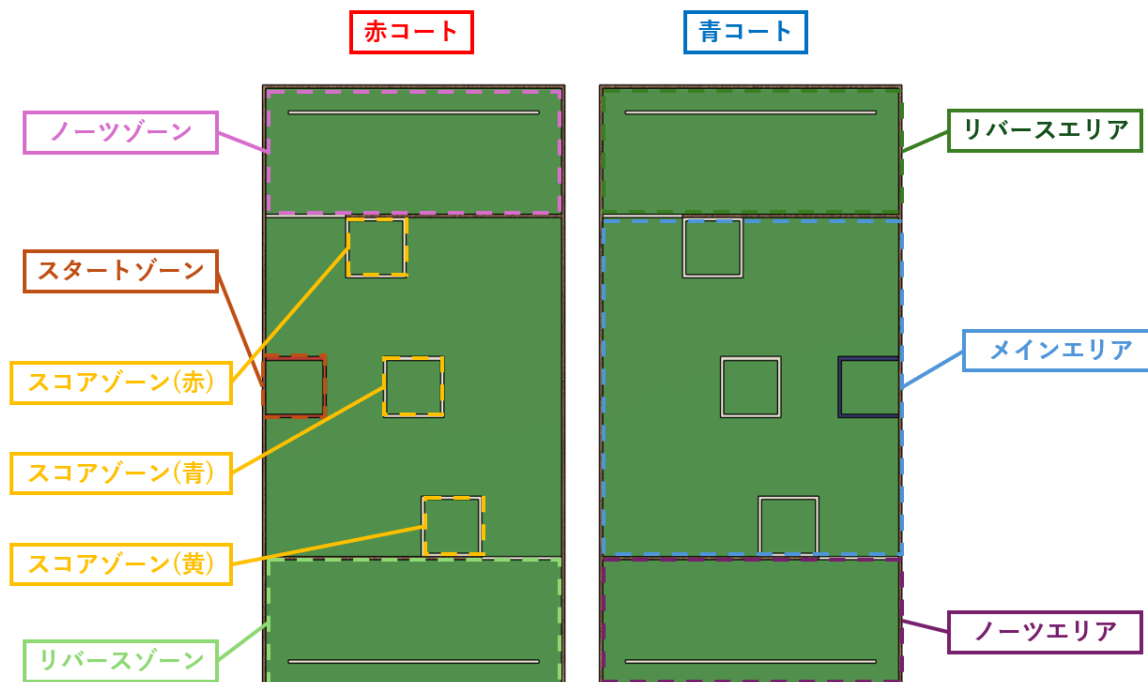
目次

1. フィールド図面
 - 1.1. フィールド全体図面
 - 1.1.1. ゾーン・エリア説明
 - 1.1.2. 等角投影図
 - 1.1.3. 平面図
2. オブジェクト図
 - 2.1. 「ノーツ」
 - 2.2. 「台座」
 - 2.3. 「スコア」

大会公式ホームページ: <https://kantouharurobo.com/haru/>

2025 年 10 月 17 日

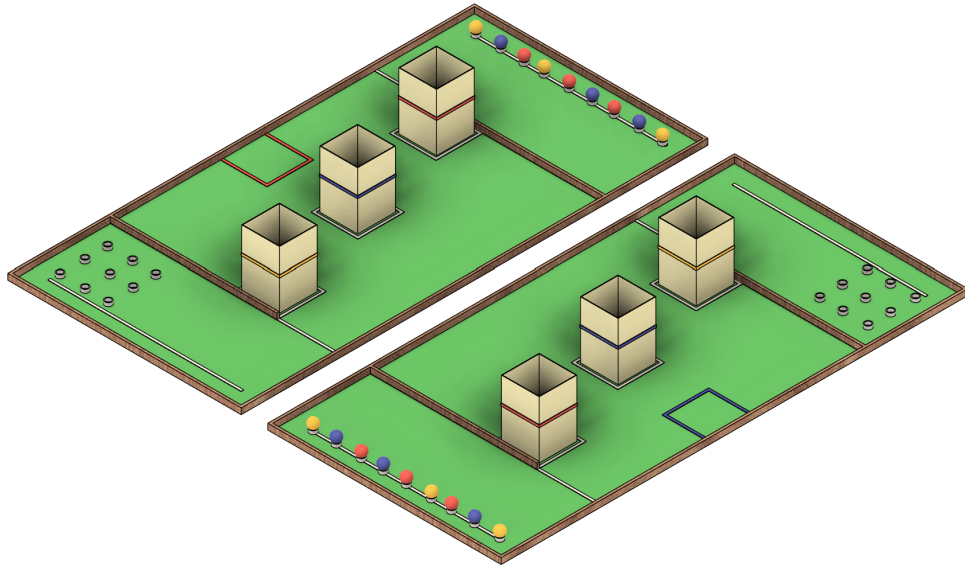
1. フィールド図面
 - 1.1 フィールド全体図面
 - 1.1.1 ゾーン・エリア説明



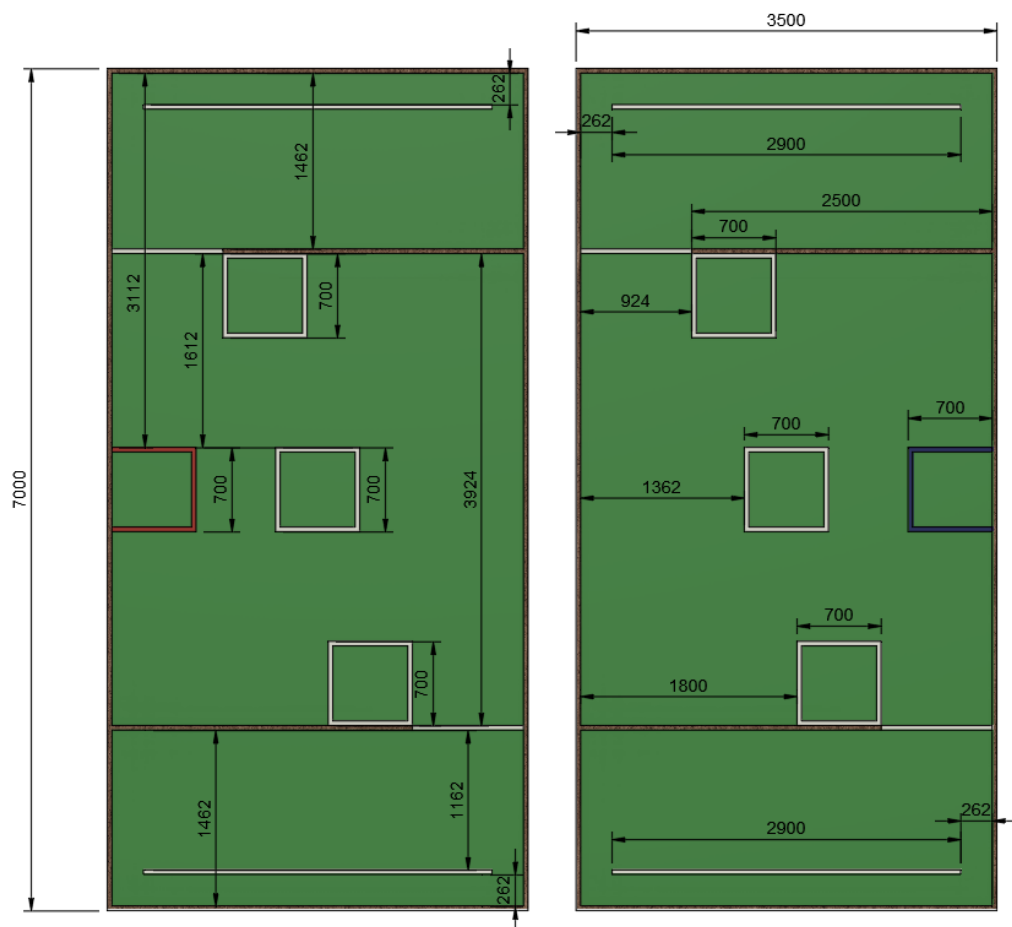
※ 上図の色分けは、エリア・ゾーンの説明のための便宜上の色分けであり、競技フィールドが実際に上図のように色分けされるわけではありません。実際の色は別途 1.1.3 平面図を参照してください。

ゾーン名 オブジェクト名	説明
4. スタートゾーン	試合開始時にロボットを配置するゾーンです。 色テープはゾーンに含まれます。
5. 「スコア」	「ノーツ」を入れるカゴです。「ノーツ」の各色に書かれたテープを巻いてフラップを固定しています。
6. 「スコアゾーン」	セッティングタイム中に「スコア」をセッティングするゾーンです。「スコア」は対応する色のゾーンにセッティングしてください。
7. 「メインエリア」	「スタートゾーン」および「スコアゾーン」を含むエリアです。
8. 「ノーツ」	「ノーツ」はボールです。赤青黄の3色があります。
9. 「台座」	「ノーツ」をセッティングする時に用います。
10. 「ノーツゾーン」	セッティングタイムに「ノーツ」をセッティングするゾーンです。
11. 「ノーツエリア」	「ノーツゾーン」を含むエリアです。 ロボットが「ノーツゾーン」に入るためには、「自動モード」をとる必要があります。
12. 「リバースゾーン」	リトライした時に「ノーツ」を戻すゾーンです。
13. 「リバースエリア」	「リバースゾーン」を含むエリアです。 ロボットが「リバースエリア」に入るためには、「自動モード」をとる必要があります。

1.1.2 等角投影図



1.1.3 平面図



フィールド寸法

- ※ 図上で細い茶色で示された部分には、幅 38 mm、高さ 89 mm の木枠が配置されます。木枠はあまり強く固定できないため、強い力をかけないようにしてください。
- ※ 白線の幅は全て38mmです。白線が交わる部分など、シートが重なる部分があります。

2. オブジェクト図

2.1 「ノーツ」



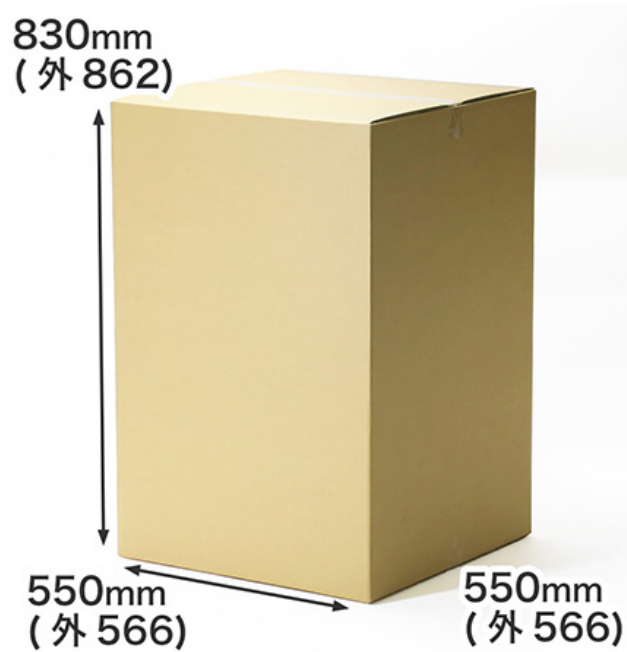
「ノーツ」は、「ソフトエアカラーボール15 青・オレンジ・黄色」（商品ページ：[モノタロウ](#)）を使用します。

2.2 「台座」



「台座」は、「養生テープ 強粘着 ポリエチレンクロス基材」緑色 テープ幅50mmテープ長さ25m」（商品ページ：[モノタロウ](#)）を使用します。

2.3 「スコア」



「スコア」は、「【宅配200サイズ】大型製品向けダンボール箱 3辺200cm」（商品ページ：[アースダンボール](#)）を使用します。